

日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2025. 1. 9 NO. 420

連絡先 荻窪5-15-19-704

☎ 080-5531-8236

区議会控室 ☎ 3312-2111 (内) 2319



↑ ホームページ



2025年 くらしでも 平和でも 希望もてる新しい政治つくる年に！

新しい年が始まりました。
今年もどうぞよろしくお願いたします。

物価高騰対策― ただちに消費税の減税を

長引く物価高騰で、いつにも増して厳しい年明けとなりました。年末の臨時国会では、くらしをどう守るのが焦点でしたが、石破内閣の補正予算案は、くらしへの支援が全く不十分な一方で、軍事費には8268億円もつき込むなど、国民に冷たい政治を続けています。

日本共産党は、くらしを守るため、消費税の減税を強く求めます。

「103万円の壁」と言われる課税最低限の引き上げは当然ですが、必要最低限の生活費には課税しないという原則にてらせば、日々の生活にかけられる消費税こそ大問題です。世界では100以上の国と地域が消費税減税に踏み出しています。日本でも、消費税廃止を目指し、緊急に5%に減税させましょう。



荻窪・大田黒公園にて

核兵器のない世界へ

昨年は、日本被団協がノーベル平和賞を受賞しました。70年近くにわたって、被爆の実相と核兵器の非人道性を訴え、核兵器禁止条約実現への大きなうねりをつくり出してきた活動が認められたものです。

私も、かつて東友会（東京の被爆者団体）事務局で働き、被爆者の方々とともに、核廃絶を訴えてきた者として、心から喜ぶとともに、被爆者の方々の活動に深く敬意を表します。

唯一の戦争被爆国・日本が「核抑止論」から抜け出し、核兵器禁止条約に参加することを求めています。戦後・被爆80年となる2025年―。被団協の受賞を力に、原水爆禁止諸名運動発祥の地・杉並から、核兵器のない世界へ前進に向け、力をあわせていきましょう。

都議選、参議院選での躍進を

政治とカネの問題でも、くらしと経済の問題でも、自民党政治の行き詰まりは明らかです。

今年は、都議会議員選挙、参議院選挙があります。都議選では、都議会の野党第一党として都政を動かす日本共産党を伸ばし、衆議院に続き参議院でも与党を少数に追い込み、自民・公明政治を終わらせましょう。

希望ある政治へ！今年も全力を尽くします。



お困りごと・ご相談は、お気軽に上記連絡先まで、お電話ください

みなさんのお宅にも届きましたか？ 広報すぎなみ 1/1号 防災特集等を全戸配布



- ◎広報すぎなみ1/1号
特集「新年は備えを見直すタイミング！」
- ◎防災マップ
- ◎在宅避難ガイド
3点が全戸配布されています！



防災マップ

防災マップと在宅避難ガイドは、区HP、区役所、区民センター、区民集会所、図書館で配布しています。

区HPと区役所防災課では、英語・中国語・韓国語・ネパール語・タガログ語・ベトナム語表記の防災マップと在宅避難ガイドを配布しています。



在宅避難ガイド

能登半島地震から1年が経過しましたが、復旧・復興は遅れに遅れています。日本共産党は、被災地の現状をつかみ、政府要請や国会質問を繰り返してきましたが、今後も、国や石川県に対し、「命を守る」「住み続けることをあきらめなくてよい」支援策を早急に講じるよう、強く求めていきます。

さて、新年最初の「広報すぎなみ」1月1日号では、防災特集が生まれ、防災マップと在宅避難ガイド（備蓄品や火災対策、情報発信ツールなどを掲載）と一緒に、区内約32万世帯に全戸配布されました。

日本共産党区議団としても、昨年の第1回定例会で防災対策の強化として、区独自の地震シミュレーションマップの作成とともに、自宅が必要とされる備蓄品や家具転倒防止対策、感震ブレーカー設置助成のお知らせを掲載することなどを求めました。今回の区の取り組みを歓迎するものです。

今年は、阪神・淡路大震災から30年となります。地震大国と言われる日本。地震の発生を止めることはできませんが、被害を最小限に抑えるとともに、発災後の対応や支援策の強化は最優先課題です。引き続き、震災対策の強化に力を尽くします。

韓国 非武装地帯を訪ねて

昨年12月、韓国・ソウルに行ってきました。オプションで「非武装地帯ツアー」に参加し、朝鮮半島の統一を願うために建てられた「臨津閣（イムジンカク）や、北朝鮮が見られるオドゥ山統一展望台などを巡りました。

1950年に勃発した朝鮮戦争は、1953年に休戦協定が結ばれましたが、70年以上経った現在も終戦に至らず、韓国と北朝鮮は分断されたままです。

離散家族の人たちの悲しみはいかばかりか、この先どう進んで行くべきなのか、分断の背景に、日本の植民地支配があったことを忘れてはならない・・・などなど、さまざま考えさせられる旅でした。男性のガイドさんが「日本の男子は兵役がなくて幸せですね」といった言葉が印象に残りました。



「マンバダン」（北朝鮮に残された家族へ祈りを捧げる場所）



「1日も早い南北統一の実現を」願いを込めて書いた短冊を結びました。